

令和7年度第3回碧南市農業活性化センターあおいパーク指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和8年2月13日（金）午後3時から午後3時45分

2 場所

あおいパーク 研修室

3 出席者及び欠席者

- (1) 出席委員 委員長 神谷 昌明
委員 伴野 義雄 藤関 弘之 原田 卓弥 神谷 節夫
杉浦 千恵子 鈴木 きずな 生田 和重

- (2) 欠席委員 0名

- (3) 事務局職員 経済環境部長 杉浦 英樹 農業水産課長 亀島 弘樹
あおいパーク園長 亀島 有香
あおいパーク主事 磯貝 秀徳 あおいパーク主事 小林 征矢

- (4) 指定管理者 木村建設株式会社 3名

4 傍聴者 0名

5 議題

- (1) 令和8年度管理運営計画について
(2) 今後の指定管理者審査委員会日程について（案）

6 会議内容

- (1) 令和8年度管理運営計画について

指定管理者が説明

【質疑応答】

A委員 : 来年度から指定管理が始まるにあたって、「JAあいち中央」や「レストランだいどころ」と既に協議をしていることと思うが、現時点までで見てきた問題点や課題、それに対してどのようにより良くしていきたいと考えているか。

指定管理者A : 課題としては広報力が弱いと思っている。産直市や体験農園といった施設があるのに、市外の方にはホームページしか発信手段がなく、見てもらえる仕掛けがない。発信力のあるツールとしてSNS

を使って、広くあおいパークの魅力を発信することが重要だと考えている。

A委員 : 今まであまり関わりのなかった事業者同士の話し合いの中で、課題やクリアしていかないといけないものはあったかお聞きしたい。

指定管理者A : 管理運営計画書には、月に1回の連絡会議（運営委員会）の開催を記載したが、急にやりたいことが出てきた時など、スピード感が損なわれる。指定管理を開始した頃は、密にコミュニケーションを取り合っていないといけないということを課題として認識している。

指定管理者B : ここに至るまでにたくさんの課題や問題があった。「JAあいち中央」や「レストランだいどころ」と文書で約束事を交わしている。その中でしっかりご協力をいただき、管理業務に務めていく。「JAあいち中央」も長年、産直市で活躍されてきた中で、我々が新しく情熱をもってやっていこうというところに、既存の能力でついてきてもらえるか、長く続けてきたことを変えることができるのか、ということに不安や課題に思っている。

A委員 : 「JAあいち中央」や「レストランだいどころ」が「あおいパークで場所を借りているだけ」という姿勢だと、相乗効果というようなものは生まれにくい。徐々に関係性を深めて一緒にやってほしい。

指定管理者B : 利用促進を深めていく、従来のものを変えていくという中でしっかり協力し合って、あおいパークが「従来よりもよくなった」という声をいただけるように努めて参りたい。

A委員 : あおいパークの浴室に関して、高齢者・障害者入浴優待券を廃止し利用料金を半額にすることが決まった。そうすると利用者数がマイナスになる予測でいる。御社は、サン・ビレッジ衣浦の運営に携わっているが、あおいパーク浴室の利用者数の見込みや目標として想定しているものはあるか。

指定管理者B : 現状の利用者数並みを見込んでいる。

B委員 : あおいパークに現在、勤められている方の雇用は、令和8年4月1日以降どのようになる予定なのか。

指定管理者A : 基本的には勤められている方に声かけして、「一緒に働いても良い」と希望された方は採用する予定でいる。

B委員 : 給料は現行よりも上がるのか。

指定管理者C : 現行の給料がどのくらいか、確認がとれていない。

B委員 : 今までよりも時給が高くなると働きやすいかなと思う。

(2) 今後の指定管理者審査委員会日程について (案)

事務局が説明

7 その他

事務局 : 来年度5月に開催する指定管理者審査委員会の開催日は、改めて調整して連絡する。

(閉会 午後3時45分)